

Keio University



# 2018 年度 経済学部 第3回入ゼミ説明会

2018 年 1 月 6 日(土)

慶應義塾大学経済学部ゼミナール委員会

## — 目次 —

入ゼミに関する今後の流れ	... 2
A 日程登録日・試験に関して	... 3
B 日程登録日・試験に関して	... 5
代理人登録制度に関して	... 6
新規ゼミ・募集再開ゼミの紹介	... 7
経済学部ゼミナール委員会について	... 11

## 入ゼミに関する今後の大まかな流れ

- |          |  |
|----------|--|
| 1月6日(土)  | 第3回入ゼミ説明会(本日)  |
| 1月下旬     | 期末テスト  |
| 2月5日(月)  | A日程登録日 <ul style="list-style-type: none"><li>経済学部の研究會を志望する学生は、指定された書式の願書をこの日に提出してください。</li><li>p.3に掲載している詳細をご参照ください。</li></ul>   |
| 3月12日(月) | A日程試験日 <ul style="list-style-type: none"><li>原則として、全てのゼミがこの日に試験や面接を行います。当日中に合格発表も行います。</li><li>詳細はp.3に掲載しています。</li></ul>   |
| 3月16日(金) | B日程登録日 <ul style="list-style-type: none"><li>A日程を終えた段階で追加の募集を行う研究會について、志望する学生はこの日に願書提出受付を行います。</li><li>A日程でいずれかの研究會の入會が認められている学生は出願ができません。</li><li>詳細はp.3に掲載しています。</li></ul> |
| 3月27日(火) | B日程試験日 <ul style="list-style-type: none"><li>A日程と同様、原則として全てのゼミがこの日に試験や面接を行います。当日中に合格発表も行います。</li><li>詳細はp.3に掲載しています。</li></ul>   |
| その後      | C日程募集  |
| 4月       | 入會が認められた場合、4月に <b><u>必ず履修申告をしてください。</u></b>  |

## A 日程登録日に関して

【日時】 2月5日(月) 【場所】 三田キャンパス 西校舎各教室

### 【持ち物】

学生証、筆記用具(鉛筆、シャープペンシル不可)、  
願書(記入済み、念のための未記入のもの両方)、予備の証明写真

※学生証は必ず持参してください。忘れた者の登録は認めません。

※願書について:

経済学部ゼミナール委員会 HP 上から願書をダウンロードし、全項目を手書き、もしくは  
タイピングで記入後、本登録当日に持参してください。

(ゼミごとに記入方法の規定が異なります。必ず HP をチェックしてください)

### 当日のスケジュール

- 10:00 **開場** (志望ゼミごとに指定の教室に着席してください。)  
西校舎 517 教室: 赤林～太田淳  
526 教室: 太田聰一～小林  
528 教室: 駒形～壽里  
531 教室: 須田～中西  
533 教室: 中村～山田浩之(敬称略、あいうえお順)  
経ゼミ本部は 519 教室とします。緊急の場合や忘れ物をした場合  
などのご相談は、こちらで受け付けます。  
電車の遅延等の理由で遅れてきた人もこちらの教室にご相談  
ください。その際は証明書等をお持ちください。正当な理由だと  
判断できた場合にのみ、登録を受け付けます。
- 11:00 **教室締め切り**  
(11 時以降は会場に入れないため、登録できなくなります。)
- 12:00～ **代理人登録受付**  
西校舎 517 教室にて受付を行います。(詳細は p.6 を参照)
- 14:30 **集計結果発表**  
経ゼミ HP・西校舎地下経済学部掲示板・経ゼミ Twitter にて  
行います。

14:30～15:30

### 登録先変更受付

集計結果発表を踏まえて、登録先変更を受け付けます。  
以下の教室のうち、変更先ゼミの教室に入室し、着席してください。  
526: 赤林～櫻川      528: 佐藤～山田

※集計結果発表後に登録ゼミを変える可能性がある場合は、  
変更先のゼミに合った内容・記入方式の願書をあらかじめ用意し、  
当日持参してください。

17:00

### 最終集計結果発表

経ゼミ HP・西校舎地下経済学部掲示板にて行います。

※当日急病にかかった際は、2月5日(月)11:00までに経済学部ゼミナール委員会  
[keio.eco.nyuzemi2017@gmail.com](mailto:keio.eco.nyuzemi2017@gmail.com) に連絡してください。

経済学部ゼミナール委員会と連絡を取ったのち、後日願書と医師の診断書を持参して  
いただくことで登録の受理とします。

## A 日程試験・発表日に関して

【日時】 3月12日(月)      【場所】 三田キャンパス 各教室

【時間】 別紙参照

経ゼミ HP 上に、研究会募集概要一覧を公開しています。そちらをご参照ください。

【内容】 A 日程試験・合格者発表 (B 日程の実施の有無および詳細発表)

## B 日程登録日に関して

【日時】 3月16日(金) 【場所】 三田キャンパス 西校舎各教室

### 【持ち物】

学生証、筆記用具(鉛筆、シャープペンシル不可)、  
願書(記入済み、念のための未記入のもの両方)、予備の証明写真

※学生証は必ず持参してください。忘れた者の登録は認めません。

※願書について:

経済学部ゼミナール委員会 HP 上から願書をダウンロードし、全項目を手書き、もしくは  
タイピングで記入後、本登録当日に持参してください。

(ゼミごとに記入方法の規定が異なります。必ず HP をチェックしてください)

### 当日のスケジュール

- 11:30 **開場** (志望ゼミごとに指定の教室に着席してください。)  
※B 日程募集ゼミは A 日程終了後、経ゼミ HP で確認してください。  
※B 日程登録時の教室は当日に案内します。
- 12:00 **教室締め切り**  
(12 時以降は会場に入れられないため、登録できなくなります。)
- 13:30～ **代理人登録受付** (詳細は p.6 を参照)
- 14:30 **集計結果発表**  
経ゼミ HP・西校舎地下経済学部掲示板・経ゼミ Twitter にて  
行います。
- 14:30～15:30 **登録先変更受付**  
集計結果発表を踏まえて、登録先変更を受け付けます。  
  
※集計結果発表後に登録ゼミを変える可能性がある場合は、  
変更先のゼミに合った内容・記入方式の願書をあらかじめ用意し、  
当日持参してください。
- 17:00 **最終集計結果発表**  
経ゼミ HP・西校舎地下経済学部掲示板にて行います。

※当日急病にかかった際は、3月16日(月)12:00 までに経済学部ゼミナール委員会  
[keio.eco.nyuzemi2017@gmail.com](mailto:keio.eco.nyuzemi2017@gmail.com) に連絡してください。

経済学部ゼミナール委員会と連絡を取ったのち、後日願書と医師の診断書を持参して  
いただくことで登録の受理とします。

## B 日程試験・発表日に関して

【日時】 3 月 27 日(火) 【場所】 三田キャンパス 各教室

【時間】 別紙参照

経ゼミ HP 上に、研究会募集概要一覧を公開しています。そちらをご参照ください。

【内容】 B 日程試験・合格者発表(C 日程の実施の有無および詳細発表)

## C 日程試験に関して

各研究会が B 日程を終えた段階で追加募集を希望する場合、C 日程募集を行っています。C 日程募集については、経済学部ゼミナール委員会は関与せず、各研究会が独自に行うことになっています。そのため、本登録・一斉試験日はありません。

C 日程募集への応募を検討する学生は、B 日程終了後、各自で C 日程試験を行うゼミと直接連絡を取ってください。

---

## 代理人登録制度に関して

### ●代理人登録制度とは

研究会入会を希望する学生が、本登録日に登録会場に来ることが出来ない場合に、別の学生に代理人として手続きを依頼する制度のこと。

### ●代理人申請を行う場合

申請方法: 期間内に代理人登録用アドレス<keio.eco.nyuzemi2017@gmail.com>まで申請してください。

受付期間:A 日程は 1 月 31 日(水)23:59 締切、B 日程は 3 月 15 日(木)23:59 締切。

※注意事項あり(該当者は HP 該当欄を熟読すること)

本日の入ゼミ説明会で、経ゼミ本部で代理人登録制度の詳細のプリントをお配りしています。(HP に掲載しているものと同じものですので、そちらをご覧いただいても結構です。)

代理人による登録を検討している方で質問、相談等あればお越しく下さい。

## 新規ゼミ・募集再開ゼミ紹介

### ●新規募集開始ゼミ

栗野盛光研究会（マーケットデザイン）

…p.8

### ●募集再開ゼミ

中嶋亮研究会（応用ミクロ計量経済学）

…p.9

藤原グレーヴァ研究会（ミクロ経済学・ゲーム理論）

…p.10

※以下のゼミは今年度募集停止となります。

北尾早霧研究会、崔在東研究会、辻村和佑研究会、細田衛士研究会、前多康男研究会、マッケンジー・コリン研究会、三嶋恒平研究会

※以下のゼミは今年度をもって廃止となります。

池尾和人研究会、金子勝研究会、延近充研究会、古田和子研究会、別所俊一郎研究会

# 栗野盛光研究会

## —マーケットデザイン—

### 1. 研究分野

#### ①教員の研究分野

私の研究テーマは、広い意味での市場(マーケット)あるいは社会経済制度のデザインです。どのような制度がいいのかを、インセンティブ、効率性、公平性の観点から、ゲーム理論やメカニズムデザインを使って検討しています。時々、経済実験やシミュレーションを行い、制度の有効性を見たりします。

私がいま研究している市場は、日本のドナー交換肺移植制度、大学入試制度、チケットなど予約システム、進学振り分けマッチング、スポーツのトーナメント、次世代自動車交通基盤等です。詳しい研究内容は、<https://sites.google.com/site/mkurino> をご覧ください。

#### ②ゼミでは何を行うか？

経済制度を見る目を養い、デザインする能力を身につけることを目標とします。

まず、マーケットデザインに関する学部生向けの教科書を輪読します。必要ならば、ゼミ生の平均的能力に応じて、分析道具である数学、ゲーム理論、メカニズムデザイン等を学習します。

同時に、少人数のグループに別れ、グループごとに、関心のある市場を決め、現制度を調べ、必要であれば新しく制度を提案してもらいます。それを三田祭論文として発表してもらいます。

なお、本研究会は2018年度初開講です。4年生がいないため、3年生には「演習」と「研究会」をセットで履修してもらいます。

定期的に筑波大学や横浜国立大学と一緒にゼミを行う予定です。

### 2. 学生への要望

要望1:ある市場の制度を良くしたい、あるいは、現制度に不満を持っていて、ミクロ経済学やゲーム理論を使って分析したいという学生を歓迎します。

要望2:本研究会は、理論的に制度を分析します。自分自身で論理的に厳密に議論を展開したい学生を歓迎します。現時点で高度な数学の知識は必要ありませんが、必要に応じて、数学の講義を受けたり、自習したり、学ぶ姿勢が大事になります。

要望3:英語と日本語にこだわりませんが、日本語が中心になります。PEARLの学生も歓迎しますが、日本語が主、英語は補助的になるので、日本語能力検定試験2級程度はあったほうがいいかと思います。また、資料やテキストは、英語かもしれませんが、日本語かもしれません。

要望4:一ヶ月に一度くらい、パワポなど使って発表してもらいます。プレゼンテーションを厭わない学生を歓迎します。数式用ワープロソフト「Tex」を使って文章を書くことになりません。Texの使い方は教えます。

要望5:就職希望者も大学院進学希望者のどちらも歓迎します。

### 3. 選考について

① 募集人員:A+B日程で10名程度

② 選考内容:筆記試験および面接。

筆記試験は、ミクロ経済学(消費者、生産者、一般均衡)1問、ゲーム理論1問。すべて基本的な問題。英語で出題、解答は日本語可。持ち込み不可

③ 選考基準:数学とミクロ経済理論関係の成績、筆記試験、面接により総合的に判断します。

# 中嶋亮研究会

—応用ミクロ計量経済学—

## 1. 研究分野

### ①教員の研究分野

私の研究テーマは社会的相互作用の実証分析で、人々が市場を超えたチャンネルで互いに影響しあうメカニズムと、その相互作用から発生する外部経済性をデータで検証することを行っています。詳しい研究内容については経済学部 web サイトの教員紹介ページとリンクされた私のホームページをご覧ください。

### ②ゼミでは何を行うか？

経済実証分析の基礎的な手法を身につけることで、データの背後にある経済原理を論理的に理解する能力を身につけることを目的とします。

まず、計量経済学の教科書や経済学に関連した一般書の輪読を行い、経済実証分析の基礎的な手法を学習します<sup>1</sup>。

次に、3年生では、少人数(例年四人程度)のグループ研究を通じて、現実の経済・社会問題に計量経済学の分析ツールを適用し、世にあふれるさまざまな仮説を検証する方法について実践的に学習します。三田祭論文(三田論)コンクールでその成果を発表することが求められます。4年生では、自らが行った経済実証分析で明らかになった発見をもとに論文の主張を説得的かつ論理的に論述することを学びます。その成果を卒業論文として提出することがゼミ単位取得の必須要件です。

三田論と卒論で実施する経済実証分析の内容は指導教員である私の研究テーマと一致する必要はありません。私がゼミ生に分析対象を指定することはありません。学生は自ら設定した問題に自分なりの解答を見出すために、データを集め、適切なツールをつかって分析することが求められます。

## 2. 学生への要望

このゼミでは「わかっていること」(知識)より「わかろうとすること」(意欲)を大切にします。よって「わかろうとすること」努力を惜しまない学生を歓迎します。具体的に以下のような学生を希望します。

a)常識を疑い、それを自ら検証することを厭わない学生 ---「世間ではXXっていわれているけど、それホント？一丁調べてみるか。よくわからないけど、とりあえずここから調べよう。」という健全な懐疑と迅速な行動力を持つ学生を優遇します。

b)自ら調べて学ぶことができる学生 --- 私は研究者ではありますが、良い教育者ではないようです(教員免許もありません)。ゼミでは実証分析の手法と経済学的な考え方を伝授しますが、三田論・卒論を執筆するためにはそれだけでは不十分です。不足部分は自ら学習する必要があります。私は求められれば手助けしますが、こちらから手取り足取り指導することはありません。

c)無駄を楽しめる学生 --- 殆どの学生にとって実証経済分析の手法は将来のキャリアには役に立たないでしょう。ゼミでの学習が就職活動に有利に働くこともなさそうです。よって、ゼミ活動は「無駄」のように思えるかもしれせん<sup>2</sup>。しかし、長い人生「無駄」もたまには必要です。無駄な努力も、それはそれでオモロイと思うことができる人材を求めます。

d) 今年から大学院志望の学生も若干名募集してみたくになりました。皆が研究志向である必要はありません。これまでのゼミ生も殆どが就職希望でした(おそらく来年度もそうでしょう)。ただゼミには多様性があつたほうがよいように思っております。

## 3. 選考について

① 募集人員：A・B 日程で 10～15 名

② 選考内容：研究計画書の提出とレポート課題。志願者は、自分がゼミで実施してみたい実証分析内容を記した簡単な研究計画書を提出する必要があります(フォーマットはこちらで用意します)。また、これ以外にレポート課題の提出もあります。本年度は教員が海外留学中のため A・B 日程での筆記試験と面接はありませんが、提出した研究計画と課題内容についてメールで問い合わせをすることがあります。成績表の提出は不要です。

③ 選考基準：入ゼミ希望者の関心、意欲、知性などを総合的に判断し、主観的に選考を行います。

<sup>1</sup>具体的には計量経済学の教科書として Stock and Watson "Introduction to Econometrics", Angrist and Pischke, "Mastering Metrics", 森田果『実証分析入門』を読みました。経済学一般書としてリチャード・セイラー『行動経済額の逆襲』やポール・オイヤール『オンラインで学ぶ経済学』を読みました。もちろんこれらすべてを1年で読むわけではありません。輪読する本は毎年変わります。

<sup>2</sup> とはいえ本当に「無駄」かといと、そうでもないと思います。それに関する私の考えについては数年前の経ゼミ企画「教授インタビュー」で述べました。興味のあるかたは参照してください。

# 藤原グレーヴァ香子研究会

## —マイクロ経済学・ゲーム理論—

### 1. 研究分野

担当者の専門分野はマイクロ経済学および非協力ゲーム理論です。研究会においては、これらの理論を勉強するとともに、必要に応じて数学もサブゼミなどで勉強します。日吉で入門レベルのマイクロ経済学には触れたと思いますが、研究会では中級レベルの文献を輪読することで、入門レベルでは扱えなかった問題も扱えるようにします。例えば、長期のモデルや情報を明示的に扱ったモデルなどです。この研究会では、単位を取るための「学習」ではなく、マイクロ経済学、ゲーム理論の「研究」のための基礎を養います。それは、人から聞いて理解するのではなく、自分でテキストを読みこなし、行間の計算をし、必要に応じて他の文献を調べて一步一步理解していくというプロセスです。この作業を担当者の指導の下、仲間とともに進めていくこととなります。

研究会ではこのように理論を学びますが、卒業論文は理論の簡単な応用でもいいです。自分の興味のある経済問題を4年時の1年間をかけて、分析していくこととなります。3年前期は、文献の読み方、プレゼンテーションの技術も学びます。プレゼンテーションの技術は特に将来も役立つものですので、力を入れて指導しています。3年当初は全体の英語力をみて日本語の文献を読むこともありますが、慣れてきたら英語の文献のみとなります。

### 2. 学生への要望

理論の研究会ですので、日吉時代にしっかりマイクロ、マクロの入門科目と数学の基礎を固めてくるといいです。拘束時間は多くないですが、研究会にはかならず予習をしてくる必要があります。

また、当研究会の特色として、絶対に「わかりません」と言うてはいけない、というルールがあります。文献を読んできて、教室で議論する、という活動ですから、「わかりません」などということは、「予習をしてこなかった上に、その場で一生懸命考えることすらしていない」ということとなりますので、これは許されません。はじめのうちは間違ってもいいですから、自分の意見が言えるようにしていきましょう。ゲーム理論については、担当者の著書『非協力ゲーム理論』(知泉書館)などを事前に読んでみると、どのようなものかがわかるでしょう。

せっかく一流の大学に入ったのですから、本当の学問の一端に触れて卒業して行って下さい。それは簡単ではありませんが、「わかった」ときの喜びは格別です。

### 3. 選考について

① 募集人員：A,B 両日合わせて約 10 名 (A 日程でこのくらいの人数になった場合 B 日程は行いません。)

② 選考内容：英語で書かれたマイクロ経済学初級レベルの文章を読み、要訳または全訳、およびマイクロ経済学初級レベルの計算問題。成績表のコピー提出。PEARL 生以外は面接はありません。(英和辞典のみ持ち込み可。電子辞書可。経済学用語辞典は使用不可。)

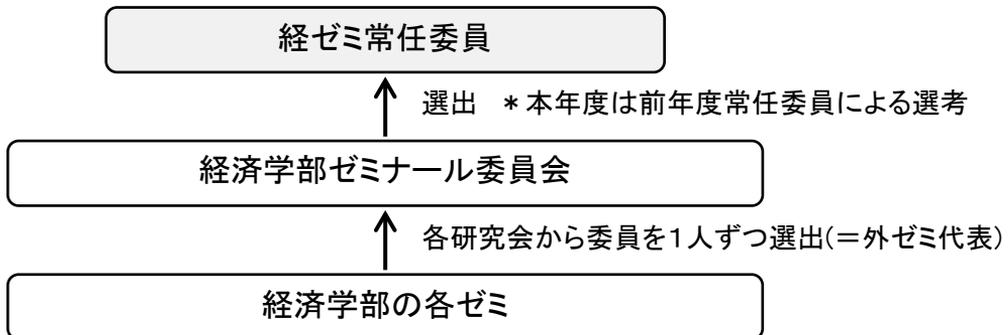
③ 選考基準：研究会について来られるレベルかを答案で判断します。英語の試験はゼミの予習と同じ作業となっています。時間内になるべく多く、経済学的に正確に理解したかを見ます。また、理論の基礎も大切ですので計算問題が出来ない場合、自動的に不合格となります。

# 経済学部ゼミナール委員会とは

経済学部ゼミナール委員会(略称:経ゼミ)は、慶應義塾大学経済学部設置されている各研究会より1名ずつ選任されたゼミ代表を委員として構成される委員会です。慶應義塾大学の「上部団体・福利厚生等団体」に所属する団体となります。経済学部のゼミナールに所属している学生は1学年あたり約 1000 人弱います。この多くの人数を抱えた経済学部の各研究会間の親睦を図り、諸問題を解決し、入ゼミや三田祭論文発表などの各種企画行事を開催しています。そして経済学部から慶應義塾の興隆に寄与することをその目的としています。入ゼミは単位に関わるものでもあり、学事センターが管理していると思われがちですが、説明会や試験も学生の代表である経ゼミが学事や教授と協力の下、運営管理している点が特徴です。

## ☑ 経済学部ゼミナール委員会 構成

- ・会長 : 駒形 哲哉教授
- ・構成員 : 経済学部各研究会からの代表者
- ・常任委員: 構成員の中から選出された 15 名



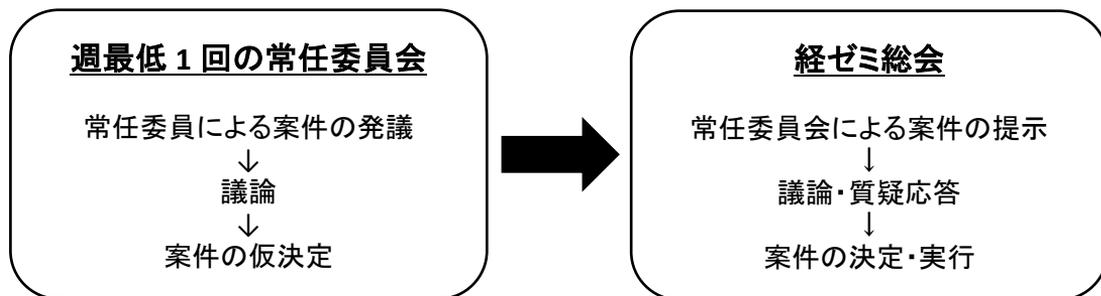
4月の最初のゼミで外ゼミ代表になった人で、経ゼミの常任委員になりたい人は立候補してください!

応募者が多かった場合は面接による選考を行います。現時点では4/14(土)を予定しています。

## ☑ 経済学部ゼミナール委員会 目的・意義

- ・経済学部として慶應義塾大学の興隆に寄与する。
- ・経済学部の研究会相互間の親睦を図る。
- ・必要に応じ、全構成員による総会、あるいは常任委員による常任委員会を開く。

## ☑ 経ゼミ総会と常任委員会の現在の関係



## ☑ 経ゼミ主催イベントカレンダー

- 4月 新年度経ゼミ常任選挙
- 5月 春期ソフトボール大会開催
- 6月 全塾ソフトボール大会協力
- 7月 第1回入ゼミ説明会
- 8月 オープンキャンパス経済学部運営
- 9月 秋季バレーボール大会
- 10月 第2回入ゼミ説明会
- 11月 三田祭論文発表、三田祭講演会
- 12月 三田祭論文優秀者表彰
- 1月 第3回入ゼミ説明会
- 2月 入ゼミ A 日程登録
- 3月 入ゼミ A 日程試験・発表、B 日程登録、試験

これらのイベントの運営は、経ゼミ  
常任委員が中心となって行います。

経ゼミに興味がある方、  
常任委員になってみたい方、  
ぜひブースにお越しください！

## ☑ 2017年度 経済学部ゼミナール委員会 常任委員

- 委員長： 木下公貴(河端瑞貴研究会)
- 副委員長： 名和真也(山田篤裕研究会)
- 財務： 大西紘司(大垣昌夫研究会)
- 全塾： 桑村玄(マッケンジー・コリン研究会)、中山葉里(木村福成研究会)
- 企画： 佐藤昌勇(櫻川昌哉研究会)、中村春樹(川俣雅弘研究会)
- 入ゼミ： 岡田尚弥(土居丈朗研究会)、齋藤達哉(松沢裕作研究会)、  
貴家裕樹(金子勝研究会)、高見朗(井深陽子研究会)
- 三田祭： 尾山友理(尾崎裕之研究会)、田中里紗(細田衛士研究会)、  
柳原隆史(高草木光一研究会)
- IT・広報： 高見朗(井深陽子研究会)

# — MEMO —

---

## 経済学部第3回入ゼミ説明会冊子

発行年月日： 2018年1月6日

発行責任者： 貴家裕樹

編集責任者： 岡田尚弥

齋藤達哉

貴家裕樹

高見朗

企画・発行： 慶應義塾大学 経済学部ゼミナール委員会

---



**Keio University** Faculty of Economics